

みんなが笑顔で
暮らせる壱岐へ

山本
ひろひさ 41歳

討議資料



商店街に灯りを!
事業所に活力を!

開業支援、固定資産税率の軽減

子どものために
子育て世代のために

施設の充実、保育所・幼稚園の完全給食化

大人も暮らしやすく
市民生活の負担軽減
道づくり改革

帰ってこられる島へ
住み続けられる島へ
住宅地整備で様々な課題解決

継続できる農業漁業へ
生産活動に対する支援
燃油、飼料代等支出への補助優先

議員定数削減に賛成
ただし選挙前の議論は反対
定数決定の仕組みの構築を

市独自の開業支援

壱岐で開業したい人を後押しする場所（インターネットサイトを含む）を創出。店舗・業者の紹介等、補助金以外の支援も充実させます。

固定資産税率の軽減

総務省のホームページには固定資産税額の決定の仕方について「課税標準額に対し、税率（原則1.4%）を掛けた額が税額となります。しかし、市町村は必要に応じて、1.4%と異なる税率を条例で定めることができます。」（一部抜粋）と記載されています。稼働施設の固定資産税の税率を下げ、遊休施設等の固定資産税の税率を上げることによって、事業の新規参入や改修による工事発注を図ります。島外企業の誘致にもつながるのではないのでしょうか。

住宅地整備で様々な課題解決

市が宅地造成し、数十件規模の住宅を民間が建てることで、バス利用者数の向上、高齢者の移動支援、UIターン者の呼び込み、水道管の更新等の課題を解決します。

施設の充実

公園に太陽光を遮る屋根付きの休憩所を整備します。旧へき地保育所の活用等で雨天時でも走り回れる遊び場を作ります。

スポーツ施設の改修・整備で学生の遠征費負担軽減、大人のスポーツ推奨で健康維持を図ります。

幼稚園、保育所の完全給食化

全国的にも公立幼稚園の給食化が進んでいます。ご家庭の負担軽減、お子様を預ける施設の選択肢の充実・公平化、夏場の衛生管理のためにも幼稚園の給食化を進めます。保育所利用者にも給食センターからのご飯の配送等の議論を進めます。

燃油、飼料代等支出への補助優先

農家、漁師の方が事業を継続できるよう支援するために、燃油代や飼料代等、入口の支出に対する補助を優先するべきと考えます。牛に餌を十分に与えること、作物を育てること、漁に出られるようにすることで壱岐の一次産業を支援します。

道づくり改革

公民館が担う道路環境整備の「道づくり」。どこの公民館も人手不足・高齢化に悩んでいると思います。公共団体や事業所による道路維持管理へ切り替える時期にきているのではないのでしょうか。廃止道路の検討も含め考えていきます。

議員定数削減に賛成

様々なご意見がありますが、人口と予算の規模に合わせた議員定数にするべきと考え定数削減に賛成します。しかし定数の決定は基準を設けるべきです。議員定数が選挙の争点になっているようでは、壱岐の発展にはつながらないのではないのでしょうか。もっと議論するべきことがあるはずです。

削る議論もしっかり

新しいことを始めると、当然予算は増えます。限りある予算です。削ることから目を背けず、しっかりと議論します。

改革・実行

